



▲登別漁港衛生管理型施設

す。そのため、登別漁港では消費者の皆さんに、安全で安心できる水産物の提供を目指し、いぶり中央漁業協同組合が北海道や市などの協力により、水産物荷さばき施設と鮮度保持施設、北海道開発局が屋根付き岸壁を整備しました。

4月3日、これらの工事の完成式となる『登別漁港衛生管理型施設竣工式』が行われ、登別漁港での陸揚げから出荷までの一貫した衛生管理が実現しました。

### 「かるやか体操」で筋力向上と脳の活性化

高齢社会を迎え、加齢を起因とする疾病などにより介護を必要とする方が増加すると予想されます。そのため市は、高齢者の筋力向上や脳の活性化など、生活機能の低下予防と改善を図る『かるやか体操』の普及に取り組みました。



▲かるやか教室



▲かるやか体操指導者養成教室

かるやか教室やかるやか体操指導者養成教室を開催し、今ではかるやか教室を終了した方たちが、もっと続けたいと卒業教室を自分たちで工夫しながら運営しています。

### 友好交流都市協定の締結

町が市になるためには、地方自治法で5万人以上の人口要件があります。このため、人口3万人以上で市になれるよう国などに働きかけ、昭和45年に6市（登別市、東京都福生市、滋賀県守山市、新潟県豊栄市、三重県久居市、山口県新南陽市）が市制を実現しました。

この6市が市制施行10周年を記念し、昭和55年に『新市制実現都市連絡協議会』を立ち上げ、平成8年に『新都市連絡協議会』に名称変更、平成13年に『友好交流都市協定』を締結しました。

その後、近隣自治体との合併によ



▲新都市連絡協議会

り3市が退会したため、11月20日、登別市、福生市、守山市で新たに『新都市連絡協議会』を立ち上げ、災害時に相互の応援体制を執るなどが盛り込まれた『友好交流都市協定』の調印を市内のホテルで行いました。

3市は、隔年で市政の情報交換を行うことになっています。

### 市内での出来事

#### 登別温泉地獄谷観光客の利用施設を整備

登別温泉地獄谷の入口にある自然公園財団所有の登別パークサービスセンターが新しくなりました。

このセンターは、これまでの施設が老朽化したため、昭和初期の登別温泉バス停留場をモデルに設計。カラマツなどの道産材と釘や金物はス



▲登別パークサービスセンター



▲登別明日中等教育学校の開校式・入学式

テンレスを使用し、景観や耐久性にも配慮した建物となっています。

また、センターの隣にあるトイレは、環境に配慮した節水や脱臭効果の高いものにするため、3月の完成を目指して工事が進められています。

#### 道内初 一体型中高一貫校が開校

中学校と高等学校の6年間を、一貫して教育を行う北海道登別明日中等教育学校が開校しました。

この学校は、地域や北海道のよさを学ぶ選択科目や英語以外の教科を英語で行うイマージョンプログラムを導入し、特色ある教育活動を行っています。

4月9日に開校式と入学式が行われ、校歌『明日の空に』を作った札幌出身のシンガー・ソングライターの大黒摩季さんが登場し、生徒や保護者の前で披露しました。